

大阪市平野下水処理場 汚泥固形燃料化事業の概要

1. 事業概要

本事業は、大阪市平野下水処理場（大阪市平野区加美北 2-6-69）構内において、汚泥固形燃料化施設を整備し、同施設を市へ引き渡した後、20年間に亘り特別目的会社が施設の維持管理・運営を行う下水汚泥燃料化リサイクル事業です。

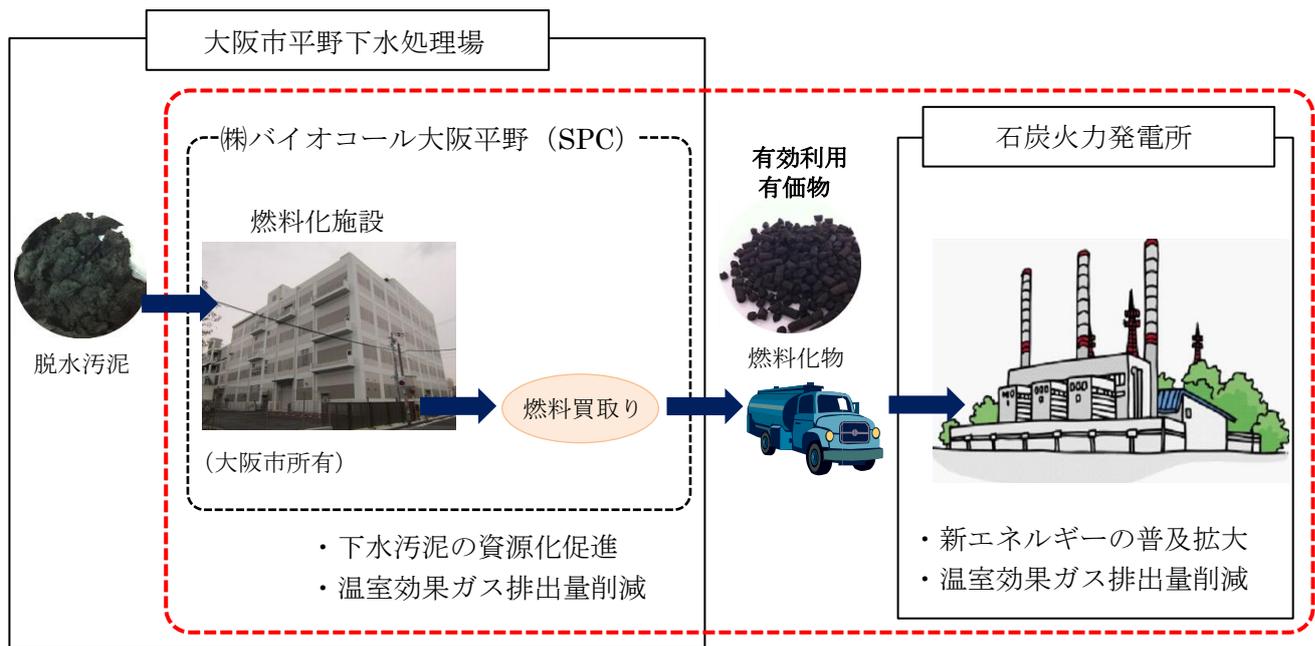
下水汚泥は、カーボンニュートラルなバイオマス資源であり、本事業では、下水汚泥から燃料化物を製造し、石炭の代替燃料として有効利用することで、下水汚泥の資源化促進と温室効果ガスの削減による地球温暖化防止に貢献することを目的としています。また、本事業では、民間企業の持つ資金調達力と経営面及び技術面のノウハウを活用した、PFI方式が採用されています。

2. 施設概要

- ①処理方式 : 低温炭化方式
- ②施設能力 : 33t-乾燥固形物量/日 (標準脱水汚泥 150t-wet/日)
- ③計画処理量 : 10,890t-乾燥固形物量/年 (稼働率 90.4%)
- ④最終生成物量 : 炭化燃料化物 8,558t/年
- ⑤燃料化物性状 : 高位発熱量 13MJ/kg (約 3,100kcal/kg)
- ⑥事業期間 : 設計・建設期間 平成 23 年 4 月 27 日～平成 26 年 3 月 31 日
維持管理・運営期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 46 年 3 月 31 日
(20 年間)
- ⑦温室効果ガス削減効果 : 本事業全体 約 11,500t-CO₂/年^{※1}
(内訳) 下水処理場 約 1,500t-CO₂/年
火力発電所 約 10,000t-CO₂/年

^{※1}一般家庭 約 2,300 世帯の年間 CO₂ 排出量に相当

3. 事業範囲



事業概要図

4. 特別目的会社概要

- ①商号 : 株式会社バイオコール大阪平野
- ②所在地 : 大阪府大阪市
- ③設立日 : 平成 23 年 4 月 1 日
- ④事業内容 : 大阪市平野下水処理場汚泥固形燃料化事業に係る施設の運営維持管理及び燃料化物売払業務
- ⑤資本金 : 50,000 千円
 <出資比率>

電源開発株式会社 (代表企業)	60%
月島機械株式会社	39%
バイオコールプラントサービス株式会社	1%
- ⑥代表取締役 : 浅川 直宏 (電源開発株式会社より派遣、非常勤)

5. 構成員と主な役割

- ・ 電源開発株式会社 (代表企業、燃料化物の利用)
- ・ 月島機械株式会社 (設計、施工)
- ・ バイオコールプラントサービス株式会社 (維持管理運営)

以 上